

# いこま もっと知ろう、いこまのこれから。 市議会のうごき

No. 152

令和4年(2022年)  
9月定例会  
3月 6月 **9月** 12月



## 9月定例会 一般会計決算などを認定

第8回観光フォトコンテスト 生駒市観光協会賞  
「未来の街、学研都市」

### INDEX

議案審議 .....	P.2-5
一般質問 .....	P.6-9
市民懇談会を開催 .....	P.10
会議の予定 .....	P.11
議決結果 .....	P.12

HPでも詳細をご覧ください。  
<https://www.city.ikoma.lg.jp/gikai/>

一般会計補正予算を賛成多数で可決

令和4年度一般会計補正予算(第5・6回)(抜粋)

項目	補正額(増額)
公共施設の電気料金値上げに係る経費	1億2,475万円
公共施設のガス料金値上げに係る経費	2,666万円
こども未来基金への積立	8億円
減債基金、公共施設等総合管理基金への積立	各5億3,000万円
公園内の樹木・街路樹の間伐等整備に係る経費	5,000万円
学校給食費公会計化システム構築に係る経費	1,197万円
育児相談など産後ケア事業の増額に係る経費	176万円
むかいやま公園体育館の人工芝の更新に係る経費	3,082万円

9月定例会では、歳入歳出ともに25億9119万2000円を追加する補正予算案が提案されました。

おもな内容は、燃料費高騰による公共施設の電気料金、ガス料金値上げに係る経費および生駒南第二小学校にある適応指導教室の利用者増加に対応するための経費などです。

更に、こども未来基金への積立、市債などの債務を償還するための財源を確保し、財政の健全な運営を目的とした減債基金および公共施設などの総合的、計画的な管理により、財政負担を軽減するために、必要な財源を積立てることを目的とした公共施設等総合管理基金への積立も含まれます。

予算委員会では、いこま市パワーカーから高圧電力を調達している公共施設の基本料金と従量料金の値上げに係る経費1362万4000円の減額およびこども未来基金への積立金8億円を減額する修正案が提出されましたが、採決の結果、修正案を否決し、原案を可決するとともに、本会議においても原案を可決しました。

反対討論の論点

○いこま市パワー(株)からの申入れによる増額のうち、燃料費調整分については理解するが、それ以外の増額を税金から支出することに疑問を感じる。

○本補正予算は、いこま市パワー(株)

の赤字決算を回避するための隠れた増資に当たり、同社の経営責任を市民に転嫁するものである。

また、こども未来基金への積立は、基金の使い道が決まっていないことおよび財政規律上の問題がある。

生駒市こども未来基金を設置するための条例を賛成多数で可決

この議案は、本市の出生数が減少するなか、安心してこどもを育てることが出来る環境づくりを推進し、本市の未来を担うこどもたちの健やかな成長に資するための教育環境の整備などに係る財源を確保し、計画的に積立てていくための基金を設置するためのものです。

反対討論の論点

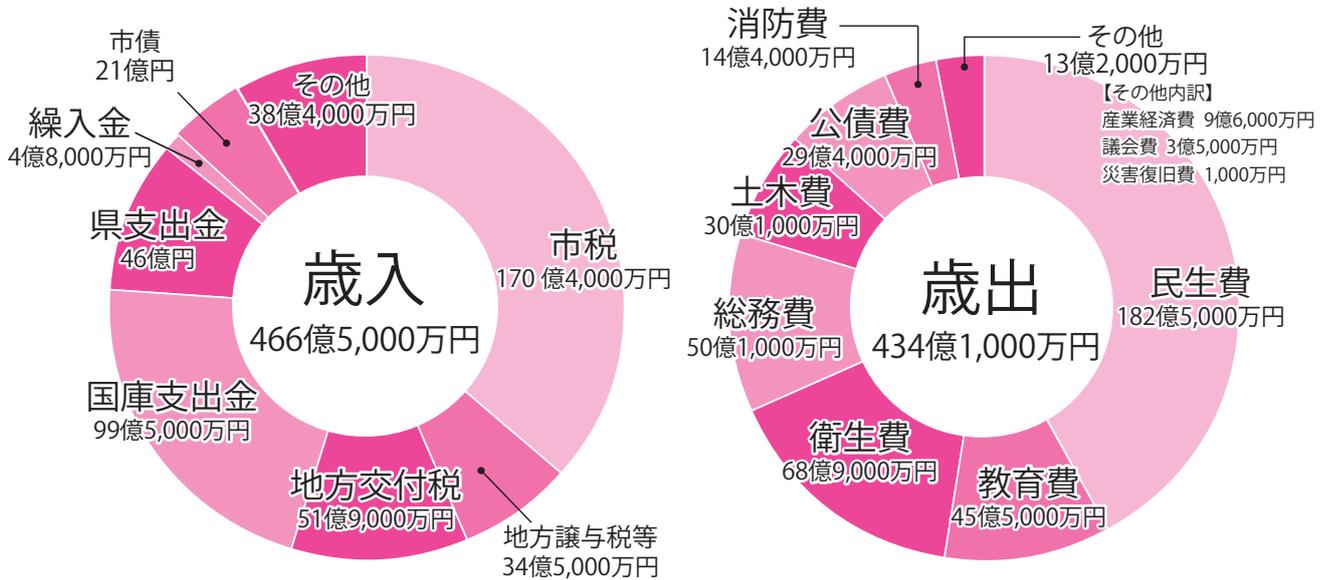
○地方財政法上、財源が足りない場合にしか取り崩すことができない基金を子ども医療費の経済的支援など経常的経費の財源に充てるのは、財政規律を損ねることになる。幅広い事業に使えるようにするには、むしろ基金に積まないほうが良い。

○基金の設置条例の体裁は整っているが、具体的な基金の活用方法が決まっていない状態で、議案を提案することは時期尚早だと考える。

# 令和3年度 決算を認定

## 令和3年度一般会計決算の構成

※ 1,000万円単位に四捨五入して表示しています。



### 一般会計の実質収支は 31億8000万円の黒字

令和3年度の一般会計決算の歳入は、466億5400万円、歳出は、434億6000万円で、翌年度へ繰り越す財源6900万円を差引いた実質収支は、31億8000万円の黒字となりました。黒字の要因として、特に市税において、新型コロナウイルス感染症の影響などにより、全国的にも大幅な減収が見込まれたが、令和2年度とほぼ同額の収入があったことが考えられます。

また、当該年度のみ収支を示す実質単年度収支は、13億6900万円の黒字となりました。

財政指標では、地方公共団体の財政構造の弾力性を示す経常収支比率は、退職手当などの歳出が増加した一方、県税交付金や地方交付税などの歳入が増加したことから、前年度より5.3ポイント改善し、84.4%となりました。

なお、公共施設整備基金、介護保険、国民健康保険、後期高齢者医療の4特別会計はいずれも黒字または収支均衡となりました。

### 賛成討論の論点

○水、医療、公共道路、里山、公教育、電力の6つの大切な公共財に関する本市の取組について、総合的に評価した結果、及第点となった。

### 反対討論の論点

○いこま市民パワー(株)の卸電力価格の交渉は、市職員の業務であるとの答弁があったが、市民の税金で任用している市職員が、同社の業務を担うことは、職務専念義務違反が強く疑われることなど、数々の内部統制上の問題が認められる。

### 議会費のおもな内訳

#### 議会費の歳出は、3億4,500万円

一般会計の歳出のうち0.8%が議会費の割合となります。

- ・議員報酬・期末手当(24人) 2億487万円
  - ・政務活動費(月額3万円) 198万円(執行率23.9%)
  - ・いこま市議会のうごきの作成(年5回) 235万円
  - ・本会議・委員会会議録の作成 987万円
- (※ 万円単位に四捨五入し、表示しています。)

### 特別職の給料月額を減額する条例改正案を全会一致で可決

この議案は、平成19年に基礎年金番号に統合されていない年金記録が、全国で約5095万件存在することが明らかとなり（いわゆる「消えた年金問題」）、遡及して支給されることになった年金を、生活保護受給者が受給したことに対し、生活保護費の返還を受けた本市の事務取扱いが誤りであったことが判明したことから、不適切な事務処理に対して、市長、副市長が監督責任を取るため、給料月額の10%を1カ月間減額するものです。

#### 賛成討論の論点

○委員会での冒頭、市長からではなく副市長からの謝罪に違和感があるが、速やかに責任を取るため、給料月額を減額する提案をされたことは評価する。

### 県域水道一体化の市民への周知等に関する請願書を全会一致で採択

この請願は、各市町村が単独で運営している水道事業を、一つの企業団とすることを目指し、協議が進められている県域水道一体化構想について、本市および市民への影響などについて具体的に理解できるよう更なる周知徹底

を求めるとともに、市民が質問できる説明会の開催を求めるものです。

請願の全文はこちら▼



### 意見書を国に提出

○女性デジタル人材育成を強力に推進するための支援を求める意見書

#### 意見書概要（要約）

○現時点では取組事例が全国的に極めて少ないなかで、「女性デジタル人材育成プラン」の実施・遂行において、自治体規模に合わせた取り組みやすい参考事例を国として積極的に発信すること。

○テレワークによるデジタル分野の就労は離れた地域でも可能であることから、テレワーク可能な企業の斡旋、紹介については全国規模で行えるよう、プラットフォームを形成すること。

○全国どこに住んでいても、また、育児や介護など時間的な制約があっても、デジタルスキルを習得してテレワークを活用しながら就労ができ、サポートを受けながらOJTなどによる実践的な経験を積むことができる機会を提供すること。

○テレワークの定着・促進に向けての

全国的な導入支援体制を早急に整備すること。

○本プランの着実な遂行のための十分な予算を確保すること。



テレワークの定着など人材育成のため支援が求められる

意見書の全文はこちら▼



### 人事案件を審議

人事案件2件が提案され、同意することおよび適任と認めることを議決しました。

○教育委員会委員

飯島敏文さん

○人権擁護委員

西田恭子さん

### 表彰状が贈られました

8月19日の奈良県市議会議長会において、市議会議員として15年間、市政の発展に尽くされた功績により、福中眞美議員、白本和久議員、伊木まり子議員および浜田佳資議員に対して表彰状が贈られ、9月2日の本会議において表彰状が伝達されました。



浜田佳資議員



伊木まり子議員



白本和久議員



福中眞美議員

## 議員定数に関するアンケート調査の集計結果

議員定数を 24 人から 22 人に変更する条例案を審査する上で、市民ニーズを把握するため、18 歳以上の無作為抽出した市民 3,000 人を対象に、アンケート調査を実施しましたので結果をお知らせいたします。

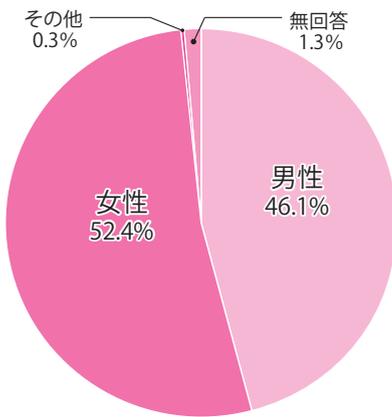
### アンケート概要

- 実施期間  
8月10日(水)～8月24日(水)
- 調査方法  
郵送による配布・回収およびウェブでの回答
- 有効回答数および回答率  
951件(内ウェブ164件)－31.7%

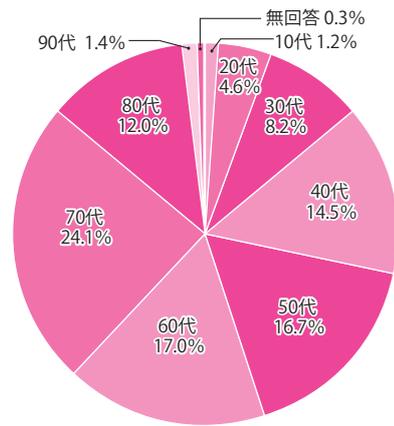
### 質問

- 質問①** 生駒市議会の活動（市民意見を把握し市政に反映すること、行財政が適正に運営されているか監視すること、政策を立案すること）に満足されていますか。
- 質問②** 生駒市議会の議員定数（現在 24 人）についてどう思われますか。

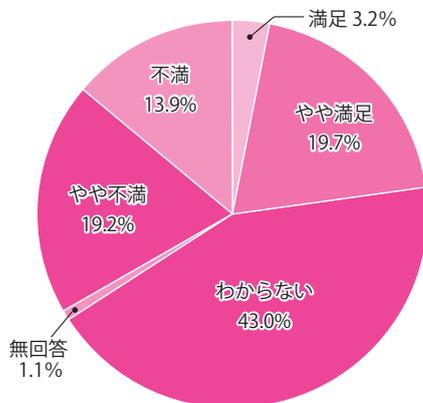
### 性別



### 年齢



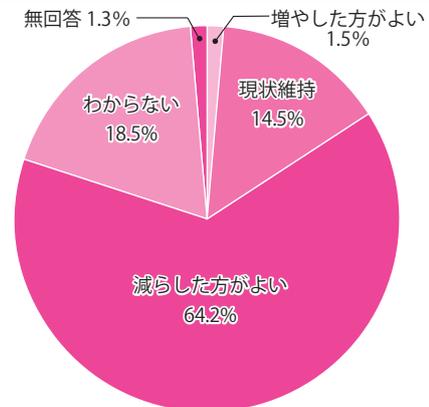
### 質問①の回答



#### 回答を選択した理由（抜粋）

- 満足
  - ・広報やホームページでの市議会の報告を見て納得している（4件）
- やや満足
  - ・特に問題を感じていない（39件）
- わからない
  - ・活動内容がわからない（60件）
  - ・自分の知識不足、情報収集不足でわからない（51件）
- やや不満
  - ・議員の活動内容がわからない（19件）
- 不満
  - ・活動内容や実体がよく分からない（43件）

### 質問②の回答



#### 回答を選択した理由（抜粋）

- 増やした方がよい
  - ・行政課題の複雑多様化への対応のため（4件）
- 現状維持
  - ・他自治体と比較して現状が適正数（19件）
- 減らした方がよい
  - ・人口減少に伴い、議員定数削減は必要（93件）
  - ・他自治体と比較すると多いので、減らした方がよい（61件）
- わからない
  - ・活動状況がわからないので判断がつかない（20件）

アンケート結果報告書はこちら→



＼ここが知りたい！／

# 本会議の一般質問

9月  
2日～6日  
定例会

質問者数 **12** 人

掲載以外の質問内容もありますので、  
ホームページや後日発行の会議録をご覧ください。

QRコードを読み取っていただくと、各議員の一般質問の動画をご覧いただけます。

## 医療的ケア児について

山田耕三議員(国民民主党)

山田耕三  
議員▼



**問** 医療的ケア児やその保護者の現状をどの程度把握しているか。

**答** 国の法律に定義する恒常的に医療的ケアを受けることが不可欠な医療的ケア児は、現在、市立小・中学校、幼稚園、保育園に3名在籍し、保護者の状況は、直接または学校や園を通じて把握に努めている。

**問** 本市の支援はどうなっているか。

**答** 学校や園での医療的ケアは、主治医の指示に基づいて看護職員が行っている。保育や教育活動で配慮すべき内容は、主治医や保護者に確認して支援を行うとともに、福祉の観点や人的・施設的な問題は、スクールソーシャルワーカー、教育委員会や関係各課と連携している。

また、福祉の支援として、心身障害者医療費助成、新型コロナウイルス感染症対策では、エタノールやマスクを優先的に配布した。

**問** 停電が想定されるような大規模災害時の支援は考えているか。

**答** 医療機器の電源の確保については、医療的ケア児が在籍する施設では太陽光発電コンセントを設置し、指定避難施設では非常用のインバータ発電機を設置している。

また、市立病院においては、一時受入れ体制の整備を進めていきたい。

## 生駒市立南小・中学校の今後について

竹内ひろみ議員(日本共産党)

竹内ひろみ  
議員▼



**問** 本年7月に開催された、「生駒南小・中学校の今後を考える会議」第1回会議で、改修の在り方、生駒南中学校の規模の適正化および校区見直し、施設一体型小中一貫校を視野に入れた学校再編が検討課題に掲げられた。来年1月に方向性を決めるといだが、何をどこまで決めるのか。

**答** 学校を建設、設計するにあたり、児童・生徒数の見込みによる教室の数および校舎の棟数など施設の在り方や、規則で定められた校区を変更せずに希望する学校に通えるようにするための調整区域の設定など大きな方向性を今年度中に決定したい。

**問** それぞれの検討課題について、地域住民や保護者などへの説明会やアンケートなどによって、十分に市民の意見を聞き、理解を得る必要があるが、今後どのように進めるのか。

**答** 会議には、学校運営協議会の委員や就学前の園児の保護者にも参加いただいている。校区の見直しなど、該当する自治会の役員の方とも話をしたい。また、必要に応じて、調査や説明会を実施し、地域の思いをしっかり受け止めながら、対象となる方々に、丁寧に説明をしていきたい。

## 減災の取組について

改正大祐議員(大樹)

改正大祐  
議員▼



**問** 市が所有している旧耐震基準で建築された自治会館の数は。

**答** 17の自治会館が旧耐震基準で建築されている。

**問** 平成27年策定の耐震改修促進計画の対象建築物に自治会館は入らないのか。

**答** 計画の対象ではあるが、床面積が千平米未満と小規模で要件を満たしていないため、対象建築物の数としてはカウントしていない。

**問** 今後、市は自治会館の耐震化をどう進めていこうとしているのか。

**答** 市が所有している自治会館などについては、市と各自治会との間で使用貸借契約を結び、市が無償で施設を貸与し、維持管理費については自治会が負担するものとしている。耐震化についても、必要性は認識しており、市は各種の補助金を用意し支援しているものの、自治会に一定の負担が発生することから、各自治会で財政的な面と相談し対応いただいている。引き続き自治会からの相談に対応するとともに、耐震化の必要性について働きかけたい。

## 他の項目

●プル型メディアの情報発信について



感染しない、させないために感染対策の徹底を

コロナ後遺症対応について

成田智樹議員（生駒市議会六公明党）

**問** 新型コロナウィルス感染症のまん延により、後遺症に苦しむ事例が多くみられ、社会的問題となっている。本市で後遺症患者の実数、実態は把握できているのか。

**答** 現時点において、本市の自宅待機者、自宅療養者支援センターや健康課への健康相談に対して後遺症に関する相談はなく、本市における後遺症患者の実数、実態などは把握していない状況である。

**問** 加療が必要な患者数が感染者の10%程度との論文もある。後遺症について、広く認知されるように努めるとともに、生活困窮に陥るような必要のない支援を行うための体制整備が必要であると考えられているか。

**答** 後遺症の症状や症状を悪化させないためにということができるのか、国のデータや知見などをもとに発信していく必要があると考える。

また、発症の前提となる新型コロナウィルス感染症に罹患しないよう、日々の感染予防対策やワクチン接種について更なる周知、啓発を行いたい。後遺症による生活困窮においては、生活支援課および社会福祉協議会で相談を受けている。

他の項目

●災害対策（食料備蓄）について



成田智樹議員

小・中学校の制服などの見直しについて

梶井憲子議員（緑生）

**問** LGBTへの配慮などの理由から学校の制服を見直す動きが広がっているが、保護者から購入費用が負担であるとの声も聞かれる。標準服や私服の採用について市の考えは。

**答** 制服の経済的負担などについて、様々な状況があるなか、現在、すべての中学校において制服の見直しに着手しており、各学校で検討されるものであると考えている。

**問** いわゆる「ブラック校則」と言われるような合理性のない不適切な校則の見直しと、校則の公開は今後どのように進めるのか。

**答** 小学校では、新1年生の入学説明会の資料作成時や年度末の職員会議における総括時に学校生活の決まりについて協議を行っている。中学校では、6月ごろの生徒会総会で各学級から提案された意見をまとめ、学校側に要望され、職員と生徒会で協議を行い、見直しや改定が行われている。更に今年8月には、中学校の生徒会代表がそれぞれの校則について情報交換を行ったが、今後このような取組を進めていきたい。

校則の公開については、今後、各学校のホームページにおいて掲載を考えている。



梶井憲子議員

いこま市民パワー(株)について

松本守夫議員（大樹）

**問** いこま市民パワー(株)が掲げる電力の地産地消の考え方を市民に理解してもらうために、分かりやすい説明が必要ではないか。

**答** 国の指針では、小売り電気事業者が発電所の立地地域を根拠として地産地消と訴求して電気を販売しようとする際には、発電所の立地場所および電気の供給地域を説明することが必要とされていることから、指針に基づき、分かりやすい説明に努めたい。

**問** 外郭団体については、行政改革推進委員会の提言を受け、運営方法などを見直されてきたが、いこま市民パワー(株)について、同委員会で見直しなどを審議されない理由は。

**答** 外郭団体は、この提言書で示す原則に則って、自らが説明責任を果たすため、経営状況を公表し、活動状況の点検、評価をしながら運営されるようになった。いこま市民パワー(株)も、事業や決算の状況を市議会で説明し、広く活動状況を公表している。今は同社だけを取り上げて外郭団体の在り方などを議論することは考えていない。

他の項目

●市民投票条例について



松本守夫議員①



松本守夫議員②



生駒駅前自転車駐車場

生駒駅周辺の自転車駐車対策について

恵比須幹夫議員（生駒市議会公明党）

**問** 生駒駅周辺の民間施設を含めた自転車駐車場マップを作成し、市民に情報提供をしてはどうか。

**答** どのような対応をしていくのかを全般的に考える中で、今後市民によりわかりやすい情報提供について検討したい。

**問** 日々不便を強いられる市民のため、まずは応急的対策が必要と考えらるがどうか。

**答** 将来的には施設の改修などを含めて検討を進めたいが、現状などについて調査をし、その上で判断したいと考える。

**問** どのようなスケジュールで生駒駅周辺の自転車駐車場を総合的に見直していくのか。

**答** 年度内に、ある程度全体的な方向性を固め、将来的に周辺の駐車場などの状況も考慮し、統廃合を含めた施設の在り方を考える必要がある。

**問** 自転車駐車場の利用料金を、すべて条例に明記してはどうか。

**答** 市民の利便性の向上を前提として、駐車料金の見直しも含めて、検討したい。

他の項目  
●聴覚過敏症の方への社会的配慮について



SDGs推進課職員がいこま市民パワー(株)(ICP)の業務に従事しているのは職務専念義務違反では

塩見牧子議員（無会派）

**問** 令和4年7月に部分開示された行政文書「令和3年度におけるSDGs推進課職員のメール」から、ICPのコミュニケーションから、ICPのコミュニケーションの交渉、みんな電力との卸電力価格の交渉、清掃センターの契約見直しに関する神鋼環境ソリューションとの折衝、株主総会の日程調整など、ICP職員がやるべき業務を市職員が行っていることがわかったが、これらの業務は、公務員の職務専念義務違反に相当するのではないか。

**答** 指摘された業務は、株主の立場から調整を行っているもの、市の施設管理者との円滑な調整を図るため関与しているものなどであるが、すべて当該地方公共団体がなすべき責を有する職務であり、職務専念義務違反にはあたらない。ICPは市の政策目的に合致する極めて公益性の高い事業を展開しており、市の出資団体の経営に関する指導調整の観点からも、同社を支援する業務は公務そのものである。

他の項目  
●ICPの運営について



農業環境の整備と今後の方向性について

白本和久議員（原翔 絆）

**問** 農業従事者の高齢化に対応するための施策は。

**答** 市農業ビジョンを基本に、利用状況調査、担い手として新規就農者の誘致や農業塾による育成、農地のあつせんなどを実施している。

**問** コンバインなどの耕作機は年々大型化しているが、これに対応した農道の整備が必要では。

**答** 整備をすることで効果が見込まれる箇所については、個別に状況を把握する必要があると考えている。今後は、農家区、地元の農家のみならず、ご意見を伺い、協議を重ね実現したいと考えている。

**問** 南田原町地内における農地転用に係る当該土地に隣接する農道における手続きについて、農地転用の申請手続きから現在に至るまでの市の対応に不備があったのではないか。

**答** 農地転用の申請手続きは、現地調査をふまえて、農業委員会での審議を経て、奈良県農業会議への意見照会を経た後、県へ進達し、許可を得ている。本件は、申請と異なる構造物があったので、現在、指導中である。なお、進行管理の一部に対応の遅れがあったので、今後、適正な事務処理に努めたい。

他の項目  
●ICPの運営について



生駒駅前図書室「木田文庫」

まちづくりの拠点としての図書館と読書推進について

沢田かおる議員（無党派）

**問** まちづくりの拠点となる図書館づくりに関連する事業の実施状況は。

**答** 市民や市民団体と協働し、様々な事業を行っている。

ビブリオバトルについては、毎月の定例会、年に1回の全国大会を開催し、本棚のWAなどのイベントについても、継続的に開催している。

また、協働事業をともに行うボランティアの養成や、知的障がい者のための代読ボランティアの養成も行っている。

**問** 小・中学校に導入したタブレット端末を、読書推進に活用するため、図書館のアイコンを貼ることは。

**答** ショートカットのアイコンを貼ることは可能だと考えている。

**問** 赤ちゃんからお年寄りまで、安心して利用できる図書館としての本市の取組は。

**答** 毎月2回から4回程度、図書館で小さな子どもを預かる「こあら」という事業を行い、1回につき2、3人預かっている。

また、朝活読得会も開催し、ふだん本を読まない方や関心のない方も図書館に来ていただき、本に親しみを感じていただける、地域住民のコミュニケーションの場となっている。

沢田かおる議員



周産期（流産・死産・新生児死）のグリーフケアについて

山下一哉議員（生駒市議会公明党）

**問** 流産や死産、新生児死を経験した女性へのグリーフ（深い悲しみ）ケアなどの支援について、市はどのようなケアや配慮を行っているのか、また、今後どのような事業での支援が考えられるか。

**答** マタニティコンシェルジュが相談に対応し、不安や悲しみの軽減に努め、専門的な支援が必要な場合は、カウンセリングを紹介している。今後は、産後ケア事業対象者の見直しなどについても検討していきたい。

**問** 市のホームページで相談窓口や自助グループの紹介などの情報提供が必要と考えるがどうか。

**答** 今後、必要な情報を分かりやすく情報提供できるように、市のホームページなどに掲載していきたい。

**問** グリーフを抱えた方に携わる部署の職員にグリーフケアに関する研修・講座を受講するべきと考えるが、市の見解は。

**答** グリーフケアに関する研修の機会があれば、積極的に受講できるように調整し、理解を深めていきたい。

他の項目

●男性用個室トイレへのサンタリーボックスの設置について

山下一哉議員



吉分北地区の開発について

浜田佳資議員（日本共産党）

**問** 吉分北地区における開発計画に関して、市民から様々な不安や意見が出されている。生駒の魅力との関連で、まちづくりの在り方、緑の保全についてどう考えているか。

**答** 本市の魅力は住環境の良さや交通の利便性で、計画は住宅都市としての基本的な方向性は受け継ぎながら、目標に掲げる多様な住まい方、暮らし方が実現できるものであると考える。一定規模の公園を配置し、地区計画を定めるほか、地区内に緑化などに関する制限も加え、緑の環境に配慮したまちづくりを進める。

**問** 地元市民の意見をどのように把握し、対応しているのか。

**答** 自治会などからの要望や開発事業者による地元説明会時の意見の情報提供などで把握している。開発事業者が地元から示された意見に対応し、近隣住民や自治会と一定の合意形成を図るよう助言、指導している。

**問** 次の段階へ進む際の、地元から出された主要な問題点との関係は。

**答** 次の段階へ進む際には主要な問題点は一定クリアできていると考えている。

他の項目

●各種団体との関わり方について

浜田佳資議員①



浜田佳資議員②





12月定例会の会議の予定

12月2日(金)10時	本会議
5日(月)10時	本会議
6日(火)10時	本会議
7日(水)10時	本会議
9日(金)10時	都市建設委員会 予算委員会
12日(月)10時	厚生消防委員会 予算委員会
13日(火)10時	市民文教委員会 予算委員会
14日(水)10時	企画総務委員会 予算委員会
16日(金)10時	予算委員会
21日(水)10時	本会議

来年の3月定例会までの日程は、生駒市議会ホームページに掲載しています。

予定は変更する場合がありますので、市議会ホームページをご覧ください。電話でお確かめください。

電話は、議会事務局（74-1111・内線5061）までお問い合わせください。

これからの会議▼



議会の傍聴における新型コロナウイルス感染症対策について

市議会の活動状況を知るために、本会議および常任委員会などを傍聴することができ、今般の新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、本会議を除く各会議については直接傍聴を中止し、別室における中継視聴をお願いしております。

また、傍聴者にマスクの着用、手指の消毒、検温をお願いしておりますので、ご協力をお願いいたします。

傍聴を希望される方は、市役所5階の受付で傍聴受付票に住所、氏名を記入していただくことで傍聴することができ、議場の傍聴者および別室での中継視聴者の定員を制限させていただく場合がありますので、ご了承ください。

なお、市議会ではインターネット中継を実施しています。市議会のホームページから、ライブ中継や過去の議会の録画映像をご覧ください。ことができますので、是非そちらもご利用ください。

ライブ中継▼



過去の録画配信▼



市議会の用語解説

基金

基金とは、特定目的のために財産を維持し、資金を積み立て、または定額の資金を運用するために、自治体が条例の定めに基づいて任意に設置した資金または財産です。

基金は任意に設置できますが、特定の目的が必要とされます。生駒市では、次のような基金があります。

財政調整基金、公共施設整備基金、北部地域整備促進基金、職員退職給与基金、国民健康保険財政調整基金、介護給付費準備基金、市営住宅整備基金、みどりの基金、ふるさと生駒応援基金、歴史文化基金、など。

9月議会で、新たに「こども未来基金」の設置が可決され、8億円が積み立てられることになりました。設置目的は、「安心してこどもを育てることができる環境づくり、教育環境の整備など、少子化対策に積極的に取り組むため」としています。

編集後記

生駒市議会と市民との懇談の場、対面での市民懇談会を3年ぶりに行いました。

この2年間は、対面での開催を見合わせ、オンライン（YouTube）配信による実施とさせていただいておりました。

当日は、3会場へ多くの方々にお越しいただき、ありがとうございました。懇談会では多岐にわたるご質問やご意見をいただき、また参加者相互の意見交換も行われるなど、対面での開催の大切さを改めて感じました。頂いた貴重なご意見などは、整理をしたうえで、全議員が共有します。

また、ご質問いただいた中で本市の制度などへの回答は、各担当課へ聴き取りをし、取りまとめて市議会ホームページへ掲載いたします。

訃報



中谷尚敬議長が、去る10月27日に68歳で逝去されました。

中谷議長は、平成7年生駒市議会議員選挙に初当選され、議員として27年5カ月、議長としては、11年5カ月務められました。議長在任中には、奈良県市議会議長会会長や近畿市議会議長会会長を務められるとともに、全国市議会議長会では国会対策委員会副委員長として、市政だけでなく、県や国に対しても強いリーダーシップを発揮され、多大なる貢献をされました。生前中のご厚誼に深く感謝申し上げますとともに、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

生駒市議会議員一同

令和4年9月定例会の議決結果

賛否が分かれた議案名	議決結果	共産党	大樹	公明党	凛翔絆	国	立	市	緑生	無	無	無	無	無	無											
		浜田 佳資	竹内ひろみ	改正 大祐	松本 守夫	恵比須幹夫	成田 智樹	山下 一哉	白本 和久	中谷 尚敬	福中 眞美	吉村 善明	山田 耕三	上村 京子	吉波 伸治	中尾 節子	梶井 憲子	中嶋 宏明	伊木まり子	塩見 牧子	沢田かおる	片山 誠也	神山 聡	加藤 裕美		
令和3年度生駒市一般会計決算の認定について	認定	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度生駒市一般会計補正予算(第5回)	原案可決	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度生駒市一般会計補正予算(第6回)	原案可決	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
生駒市こども未来基金条例の制定について	原案可決	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※中谷議長が欠席し、吉村副議長が議長の職務を行い、議決に加わらなかったため「-」と表示しています。

◎会派名：共産党(日本共産党)、公明党(生駒市議会公明党)、国(国民民主党)、立(立憲民主党)、市(市民ネット)、無(無会派)

○=原案賛成 ●=原案反対

全会一致で原案可決・認定・同意・適任・了承とした議案

- ・市長専決処分の報告について(損害賠償の額の決定について)
- ・市長専決処分の報告について(損害賠償の額の決定について)
- ・令和3年度決算に基づく生駒市健全化判断比率の報告について
- ・令和3年度決算に基づく生駒市資金不足比率の報告について
- ・市長専決処分の報告について(損害賠償の額の決定について)
- ・令和4年度生駒市介護保険特別会計補正予算(第1回)
- ・令和4年度生駒市水道事業会計補正予算(第2回)
- ・令和4年度生駒市下水道事業会計補正予算(第1回)
- ・令和4年度生駒市病院事業会計補正予算(第2回)
- ・生駒市選挙公営に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- ・職員の定年等に関する条例等の一部を改正する等の条例の制定について
- ・生駒市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- ・生駒市手数料条例の一部を改正する条例の制定について
- ・第2阪奈2号橋(一般部)予防保全補修工事変更請負契約の締結について
- ・令和3年度生駒市公共施設整備基金特別会計決算の認定について
- ・令和3年度生駒市介護保険特別会計決算の認定について
- ・令和3年度生駒市国民健康保険特別会計決算の認定について
- ・令和3年度生駒市後期高齢者医療特別会計決算の認定について
- ・令和3年度生駒市水道事業会計決算の認定について
- ・令和3年度生駒市下水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について
- ・令和3年度生駒市病院事業会計決算の認定について
- ・財産の取得について
- ・生駒市特別職の職員で常勤のもの給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- ・生駒市教育委員会委員の任命について
- ・人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて
- ・県域水道一体化の市民への周知等に関する請願書
- ・女性デジタル人材育成を強力に推進するための支援を求める意見書(案)